

# 名誉園長の部屋



名誉園長 松谷 茂

京都新聞「ソフィアがやってきた」企画で

小学生の皆さんに植物に関する授業を行いました。

## ★ これからの催し ★



— 名誉園長さんときまぐれ散歩 —

・2月27日(日) 午後1時から  
植物園会館前集合 先着30名

\*活動予定はここで要チェック。お楽しみに！

## 「ソフィアがやってきた!」顛末記その1

京都新聞の「ソフィアがやってきた!」という企画で大原学院(旧大原小学校・中学校)の4,5年生20人の子どもたちに2月8日、授業を行いました。その時の模様が、2月20日の朝刊に掲載されました。

「ソフィアがやってきた!」は、現職当時から教育関連のとてもよい企画だ、と思っていました。教科書を覚えることばかりが自己学習ではないので、専門家がその専門の中味を子どもたちに直接伝えることは、子どもたちにとってのものすごい財産になることは間違いないし感受性の強い時期の教科書を越えた学習は、生涯の糧の一つになるに違いない、と思います。

そんな時に京都新聞社からお声をかけていただきました。とても嬉しかったのですが同時に「私でよいのか」という、心配・不安が瞬間、頭をよぎりました。

でも、「ソフィアがやってきた!」は、ある意味、あこがれていた企画でもあったので「とてもありがたいお話です」と、お引き受けしました。

「植物は、不思議がいっぱい詰まってる!」と、題した90分。実物を観察しての学習がメインとなりますが、授業の中身を何回かに分けて書き記します。

### ① ペットボトルに入ったアカマツ球果(松ぼっくり)の謎

子どもたちを前にして話をするとき、何をどう喋ってよいのやら、と、教育者でないが故の不安を抱えるのですが、この「ペットボトルなんでやねん作戦」はだいたい、成功します。

アカマツの球果を拾います(写真-1)。それが、このようになります(写真-2)、いや、ならせませう。ここで、子どもたちから「なんでやねん、わからんワ、どっかくり抜いたん?ここで育てたんやろ」の声が聞こえたらニタニタしながら心の中で「よっしゃ、ヤッター、成功や!」と叫びます。いわゆる、つかみ、という話の導入部が成功しました。

写真-1と2の間には、若干のタネと仕掛けがあるので、「この話の最後に答えを言います」と言いつつ、そんなこと忘却の彼方、の時もあり、非難ごうごうの声に引き返すこともしばしば。

本日、ここまで。

エッ、答えは?

覚えていたら、次回にでも。



写真-1 アカマツの球果(松ぼっくり) この状態で地面に落ちている



写真-2 ペットボトルなんでやねん作戦

(なぜ、口より大きな球果が入っているのかを不思議に思っしてほしい)